

2023年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
33102	人間関係の心理 Psychology of interpersonal Relationship	井手裕子		専門	1	選択	1.2後期

科目の概要

心理学、特に人間関係のしくみを学ぶことは、学生生活や就職先で出会う同輩、上司を理解し、スムーズな関係を築くことに役立つ。また、将来子どもを持った時の子育てにも役立つと考える。本科目では、基本的な心理学の概念と、子どもの関係性がどのように発達するかという発達心理学、人間関係を築くための知識を理解することによって、実際の場面でのスムーズな関係を築くことができるようになることを目的とする。また、本科目はピアヘルパー資格取得に必要な科目であるため、ピアヘルパー試験対策を行う。これらの学びの過程で課題を発見し、修得した知識を活用して日常的な友だちをヘルプできるノウハウを身につける等、人間関係の中で起こる課題を解決する能力を獲得する。

学修内容	到達目標
① 人間の心理に関する基礎的事項について学ぶ。 ② 人間の関係性の発達について学ぶ。 ③ カウンセリング理論および技法について学ぶ。 ④ 多様な場面での人間関係を築く大切さを知る。(ピアヘルパーの基礎知識を修得する) ⑤ 青年期の諸問題とその対応について学ぶ。	① 人間の心理に関する基礎的事項を説明できる。 ② 人間の関係性の発達について理解し、想像することができる。 ③ カウンセリング理論および技法について説明することができる。 ④ 自分と他者を生かす人間関係の築きかたを理解し、実際に友だちを助けるシュミレーションをすることができる。 ⑤ 青年期の諸問題とその対応を説明することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性 技術（学修）習得のために自ら練習することができる。
	働きかけ力
	実行力 期限内に最後までやり遂げることができる。
考え抜く力	課題発見力 ものごとを客観的に捉える力と常に問題意識をもつことができる。
	計画力
	創造力 オリジナリティな思考（発想）をもち、多角的なものの見方ができる。
チームで働く力	発信力 聞き手にわかりやすく伝えることができる。
	傾聴力 人の話をよく聴くことができる。相手の人が話す意味、意図をくみ取ろうとする姿勢を持って聴くことができる。
	柔軟性
	状況把握力
	規律性 遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力

テキスト及び参考文献

テキスト：青木滋昌『精神分析治療で本当に大切なこと』誠信書房（¥2,400+税）
 参考図書：日本教育カウンセラー協会編『ピアヘルパーハンドブック』図書文化（¥1,500+税）
 基礎知識に関することは、適宜プリントを配布する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：無限の可能性開発講座Ⅰ、無限の可能性開発講座Ⅱ、心のはたらき、子どもの発達と社会
 資格：ピア・ヘルパー（資格取得希望者は、本科目と上記4科目が必修科目であるので、必ず取得すること）

学修上の助言	受講生とのルール
理論は、自分の生活に結び付けることで理解しやすくなります。自分に置き換えて理解する習慣をつけてください。そして、理解したことを自分の言葉でまとめる習慣をつけてください。	<ul style="list-style-type: none"> 授業開始20分で遅刻とします。遅刻は2回で1回の欠席とします。 期限内に課題を提出してください。 提出物に関するルール（授業開始時にプリントを配布）に従って提出すること。ルールに従わない場合は減点となります。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学 期 末 試 験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	80	①	✓	①人間の心理に関する基礎的事項を説明できる。 ②カウンセリング理論及び技法を説明することができる。 ③青年期の諸問題とその対応を説明することができる。 ④自己と他者を生かす人間関係の築きかたを理解する。 ⑤人間関係のトラブルを理解し、解決能力を身につける。 ⑥心理学と自分の生活を結び付けて考えることができる。		
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
	平 常 評 価	小 テ ス ト		0	①	✓		
					②	✓		
					③	✓		
					④	✓		
					⑤	✓		
		レ ポ ー ト		10	①	✓		①復習課題を提出する。 ②授業の振り返りを行っている。
					②	✓		
					③			
					④			
					⑤			
成 果 発 表 （ プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン ・ 作 品 制 作 等 ）		0	①					
			②					
			③					
			④					
			⑤					
学 修 行 動	社 会 人 基 礎 力 （ 学 修 態 度 ）		10	①	✓	①出席のルールを守る ・6回以上の欠席は0判定となる。 ・30分以上の遅刻は、2回で1回の欠席となる。 （30分以内の遅刻は遅刻） ②（実行力）期限内に最後までやる遂げることができる ③（課題発見力）ものごとを客観的に捉える力と探究心がある ④（創造力）オリジナリティな思考（発想）をもち、多角的なものの見方ができる ⑤（発信力）聞き手にわかりやすく伝えることができる。 ⑥（傾聴力）人の話を聴くことができる ⑦（規律性）遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。 ⑧（主体性）学習の習得のために自ら情報収集することができる		
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
総合評価割合		100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>(S) 以下について9割以上理解し表現できる。(A) 以下について8割以上理解し表現できる。</p> <p>①人間関係の心理に関する基礎を理解・説明できる。②カウンセリング理論および技法を説明できる。③青年期の諸問題とその対応を説明することができる。④自分と他者を生かす人間関係の構築方法を説明できる。⑤人間関係のトラブルを理解し、解決方法を提示することができる。</p>	<p>(B) 以下について7割以上理解し表現できる。(C) 以下について6割以上理解し表現できる。</p> <p>①人間関係の心理に関する基礎的事項を説明できる ②カウンセリング理論および技法を説明することができる。 ③青年期の諸問題とその対応を説明することができる。④自分と他者を生かす人間関係の構築方法を説明できる。⑤人間関係のトラブルを理解し、解決方法を提示することができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 心理学とは 心理学の歴史と、種類 を学ぶ。どのような学 修を行うか目標を立て る	・オリエンテーション ・レポート作成「自分 がこの授業でどのよう なことを学びたいか」 について(提出①) ・講義 ・	初回は理解度を図らな い。	復習：自分がこの授業 でどのようなことを学 びたいかを考え記述す る。 (提出①)	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	心理学の基礎：学習理 論①古典的条件付け② オペラント条件付け③ 観察学習等	・前回授業の質疑応答 及びコメントシートの フィードバック ・小テストと答え合わ せ ・講義 ・グループ討議「理解 した知識を実際の生活 場面で探す」(提出②)	学習理論を理解し、学 習を自分の生活のなか で起きている学習(古 典的条件付け、オペラ ント条件付けどちらか 1つ)の現象を記述で きる。	予習：学習について、 プリントを読んでく る。(事前に配布す る) 復習：課題「「学習」 の現象を記述する」を 提出する。(提出②)	90	主体性 実行力 課題発 見力 発信力 傾聴力 規律性
3	動機付け：原因帰属、 外発的動機付け、内発 的動機付け	・前回授業の質疑応答 及びコメントシートの フィードバック ・小テストと答え合わ せ ・講義 ・グループ討議「理解 した知識を実際の生活 場面で探す」(提出③)	動機付けについて、外 発的動機付け、内発的 動機付けの例を記述す ることができる。	予習：動機づけについ て、プリントを読んで くる。 復習：課題「外発的動 機付け、内発的動機付 けの例」を記述する。 (提出③)	90	主体性 実行力 課題発 見力 発信力 傾聴力 規律性
4	記憶：記憶のしくみ、 短期記憶、ワーキング メモリ、長期記憶	・前回授業の質疑応答 及びコメントシートの フィードバック ・小テストと答え合わ せ ・講義 ・グループ討議「理解 した知識を実際の生活 場面で探す」(提出④)	記憶のしくみ、ワーキ ングメモリについて、 説明できる。	予習：記憶のプリント を読んでくる。(事前 配布) 復習：「ワーキングメ モリについて、自分の 日常での例をあげる」 課題を行う。(提出 ④)	90	主体性 実行力 課題発 見力 発信力 傾聴力 規律性
5	カウンセリングについ て：精神分析の基礎を 学ぶ。欲動論について	・前回授業の質疑応答 及びコメントシートの フィードバック ・小テストと答え合わ せ ・講義 ・グループ討議「理解 した知識を実際の生活 場面で探す」(提出⑤)	精神分析の欲動論(自 我、イド、超自我のし くみ)を理解し、例を あげるなど、説明する ことができる。	予習：精神分析の欲動 論について、調べてお く 復習：自分の失策行 為、自我とイドと超自 我の例を記述する。 (提出⑤)	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	カウンセリングについ て：精神分析的心理療 法-臨床心理学の考え 方、 話の聴き方	・前回授業の質疑応答 及びコメントシートの フィードバック ・小テストと答え合わ せ ・講義 ・グループワークとレ ポート作成	精神分析的な心理療法に ついて理解し、説明で きる。	予習：精神分析につい てのプリント、教科書 p7~28を読む。 復習：教科書とプリン トを読み直し、精神分 析的心理療法について レポートする。(提出 ⑥)	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	カウンセリングについ て：来談者中心療法、 ピアヘルパーの考え方	・前回授業の質疑応答 及びコメントシートの フィードバック ・小テストと答え合わ せ ・講義	カウンセリングの意義 が理解でき、説明でき る。	予習：カウンセリング に関するプリント、テ キストを読む。(事前 配布) 復習：配布プリントと 作成したノートを再度 読む。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	カウンセリングについ て：行動療法、認知行 動療法の方法を学ぶ。	・前回授業の質疑応答 及びコメントシートの フィードバック ・小テストと答え合わ せ ・講義 ・グループワーク、レ ポート作成	行動療法、認知行動療 法について理解し、学 習理論との関連性を説 明できる。	予習：学習理論の復習 をしておく(第2回目 授業内容の復習) 復習：行動療法につい て、学習理論と関連づ けてまとめる。(提出 ⑦)	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	実習：言語的コミュニケーションの体験 言語的コミュニケーションをシミュレーションする。 カウンセリングを実際に行ってみる。	・前回授業の質疑応答及びコメントシートのフィードバック ・小テストと答え合わせ ・講義 ・ワークショップ	人の話を聴く、聴いてもらうという体験を行うことができる。	予習：プリントを読む 復習：「話を聴くこと、聴いてもらうこと」について、意味をレポートする。(提出⑧)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	実習：非言語的コミュニケーションの体験 (ロール・プレイ)	・前回授業の質疑応答及びコメントシートのフィードバック ・講義 ・ワークショップ	非言語的コミュニケーション(絵を描くこと、スクイッグルを行うこと)を理解し、その意味をまとめることができる。	予習：非言語的コミュニケーションについてプリントを読んでおく。 復習：自分の聴き方、対し方について振り返りを記述する。(提出⑨)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	人間発達：乳幼児の発達 特に関係性の発達	・前回授業の質疑応答及びコメントシートのフィードバック ・講義 ・グループワーク、レポート作成	乳幼児の関係性の発達の特徴を理解し、説明することができる。	予習：乳幼児の発達についてのプリントを読む。 復習：乳幼児期の思い出を記述する。(提出⑩)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	人間発達：発達に関するDVD鑑賞、児童期	・前回授業の質疑応答及びコメントシートのフィードバック ・小テストと答え合わせ ・講義(DVD鑑賞) ・グループワーク、レポート作成	発達の考え方について、DVDから理解し、説明できる。	予習：第11週めの復習を行う。 復習：DVDの感想を提出する。(提出⑪)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	人間発達：児童期、青年期の発達	・前回授業の質疑応答及びコメントシートのフィードバック ・小テストと答え合わせ ・講義 ・グループワーク、レポート作成	児童期、青年期の特徴を説明し、ピアヘルプの必要性を説明できる。	予習：青年期の特徴を3つ書きだしてくる(提出⑫) 復習：配布プリントを完成させ、読み返す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	人間発達：中年期、老年期の発達 中年期危機としてのストレスマネジメント	・前回授業の質疑応答及びコメントシートのフィードバック ・小テストと答え合わせ ・講義 ・グループワーク、レポート作成	ストレスマネジメントについて説明できる。	予習：中年期、老年期のプリントを読む。 復習：ストレスマネジメントについて、プリントを再度読む。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	まとめ 全体の小テスト	・前回授業の質疑応答及びコメントシートのフィードバック ・テスト(小テスト提出⑬)	まとめとして的小テストに解答できる。	予習：14回の授業を復習しておく。 復習：小テストを振り返る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力